

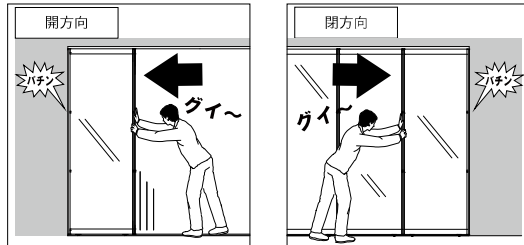
「ソフトクローズ機能」の自動復帰機能について

ソフトクローズ機能には、自動復帰機能が付いています。
以下の①-②の場合に、以下の《自動復帰方法》所定の動作を行いソフトクローズ機能を復帰させてください。

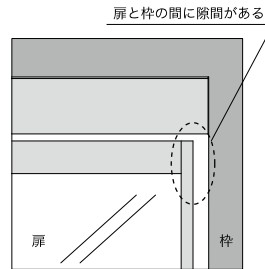
- ①扉を閉めた際に、ソフトクローズ機能が効かない場合。
- ②扉が1～2cm閉じきらない場合。

《自動復帰方法》

STEP. 1 カチッというまで押し込んでください。
再び扉を開けると、ソフトクローズ機能が復帰します。



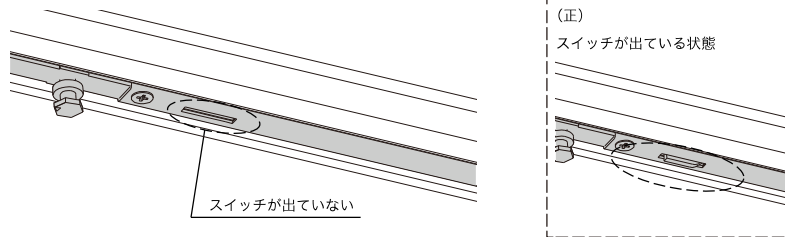
STEP. 2 扉の動作確認をします。
扉が閉じた時、開いた時に扉と枠との間に隙間が無いことを確認してください。
隙間が開いている時は、再度 STEP.1 を行ってください。



※万が一復帰しない場合は、P.165の「ダンパーメンテナンス方法」に従ってレールからダンパー部を外して、ラッチを待機位置に戻してください。

《ソフトクローズ機能動作確認のポイント》

上ランナーのソフトクローズ機能が作動しないときは、まず、スイッチを確認します。スイッチが下図の様になっていない場合は、STEP.2へすすみます。



本製品は、一般住宅の室内向けの金物です。屋外・浴室など水と接する場所、または火気周辺での使用はしないでください。

⚠ 「ソフトクローズ機能」使用上の注意事項

- ・本製品は、耐水・耐火構造ではありません。
- ・ソフトクローズ機能使用環境の推奨温度範囲は、5～40℃です。
- ・ビスは、指定のものを指定の本数使用して、固定してください。
- ・レールのビスの頭が上ランナーと接触しないようにご注意ください。
- ・上レール・ダンパーの中にゴミ・ほこり等が入らないようにしてください。
- ・上レール傾き・ねじれ・ビスの締めすぎによるレールの変形が無いように取り付けてください。
- ・ダンパーに油・水等の塗布はしないでください。(※ダンパーへの不純物の混入によりソフトクローズ機能の効果が失われる可能性があります)
- ・分解はしないでください。
- ・過度に乱暴に扉を閉めた場合、ソフトクローズ機能が効かない場合があります。
- ・性能上の注意 諸条件により、ダンパー力、閉じ込み速度のバラつきが発生することがあります。
(閉める速度、施工状態、周囲の環境、使用環境、扉重量、左右の扉の走行性の違い等)

施工時の注意事項

下記の注意事項は、商品の性能機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
取り付けの際には必ずお守りください。

- ・必ず水平・垂直を確認した、強度のある平坦な天井・梁に施工してください。
(強度不足の場合、正常に作動しない可能性があります。)
- ・指定の部品以外は使用しないでください。
- ・ネジ止め箇所は指定のネジをすべて確実に止めてください。
- ・本来の目的以外への転用及び改造は行わないでください。
- ・戸袋仕様の扉に本製品を使用する場合、メンテナンスが可能な構造としてください。
- ・インパクトドライバーを使用しての金具の取り付け・調整は破損の原因となりますのでおやめください。
- ・組立て、取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、開閉動作が正常に行うことができること、及び使用上の不具合がないか確認してください。
- ・《ソフトクローズ機能製品取り付けの注意》
取り付けの際、ネジ締め付け時には、クラッチ付きドライバーの弱で締めてください。
締め付けトルクが強すぎるとネジの破損につながります。